



地域日本語支援ニュース こだま 第 361 号

2019.6.13



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■お知らせ (1) ■

機関誌『AJALT』42 号発行に寄せて

2■お知らせ (2) ■

「2019 年度 日本語教師のための夏の教え方講習会」のお知らせ

3■お知らせ (3) ■

「AJALT 公開講座」のお知らせ

=====

1■ お知らせ (1) ■

6 月 10 日発刊！

機関誌『AJALT』42 号発行に寄せて

編集長 塙 仁礼子

.....

今年も機関誌『AJALT』42 号が 6 月 10 日に発行されました。「こだま」をご愛読いただいている皆様に、42 号の梗概をご紹介します。

.....

◆巻頭インタビュー 「私とことば 多和田 葉子」

1982 年にドイツに渡って以来、日独両言語で数々の作品を発表してこられた多和田氏。世界 10 カ国以上の言語に翻訳された作品は、海外でも高く評価され、名だたる文学賞を受賞してきました。今回一時帰国なさった氏に、執筆秘話や読書体験、翻訳についてなど、興味深いお話を伺いました。

◆特集 二つの言語の交わる場所 Where Two Languages Meet

「二つの言語の交わる場所」と聞いて、何を連想しますか。バイリンガル？翻訳？「ミーにチョコレートギブね」などといったピジン語（注）？それとも…？

今号では日本語とさまざまな言語との狭間にいる方々に、二つの言語について個々の体験と視点からご寄稿いただきました。

外国語といえば、まずは英語！と思われる方も多いのでは。日英両言語に精通する片岡義男氏には、偶然目にしたテレビの記憶から、日英話者の自他の概念の違いを炙り出したエッセイ「TV の記憶をふたつ」をお寄せいただきました。

「台湾生まれ日本語育ち」の温又柔（おんゆうじゅう）氏には、日・中・台の言語の狭間で「ことばの杖」を掴み取った自身の体験を、『『国語』でない日本語で書く作家として』で綴っていただきました。

近頃よく「異文化」という言葉を耳にしますが、その捉え方は一様ではないようです。小説家、評論家、翻訳家、大学教授、編集者、幾つもの顔で日英両言語に関わってこられた古屋健三氏には、「異文化と向き合おう」と題したエッセイで、異文化を問い直していただきました。

生まれながらにして二つの言語背景を持ったバイリンガル児。今回はカナダの事情と、ジェスチャーを通してみたバイリンガル児について、専門家の平川眞規子先生が「ジェスチャーのなぜ——日仏バイリンガル児のジェスチャーを考える」で、興味深い研究をご紹介くださいました。

日本語を学ぶ外国人の目には、二つの言語はどう映っているのでしょうか。30 年来日本に住み、大学で教える英国人教授 John Herbert 氏にユーモア溢れる英文エッセイ「Life with two languages - one soul or two?」をお寄せいただきました。

編集部独自記事では、巷に氾濫するカタカナ語の今を、日本人と外国人の立場からみた「和製外国語はむずかしい！？」。近年ますます脚光を浴びる「やさしい日本語」についての架空座談会「やさしい日本語って？」。日本語学習者に勉強法を取材した「私の日本語習得法」。日本人と外国人が互いの文化を知るための作品を日・英語で紹介した「異文化ともっと深くかかわるために」。ほか、「二つの言語の交わる場所」を求めて、編集委員が浜松まで足を延ばした「ボンジア TOMODACHI」や楽しいコラム 2 編もご用意しました。

（注）ピジン語：混成言語。母語を異にする人々の間で意思疎通のために作り出された言語。母語同士が混交する結果、簡略な文法が使われることが多い。

◆他にもこんな記事が……。

在日米軍基地で子供たちに日本語を教える現場からの2つのレポート「小さな『懸け橋』たちとあいうえお」と「Yokosuka's DoDEA schools forge new paths for friendships and cultural exchange with Japan」。衆議院議員の馳浩氏を招いて行われた AJALT 公開講座ルポ「非常ベルは聞こえているか」、おなじみ「ヤマキー先生の気になる日本語」。「日本語教師海外便り・カンボジアから」、「学習者の作品から」、「AJALT 教師の書棚から」。新企画「こばなしブレイク Comical Short Story」など、バラエティに富んだ記事を所載いたします。どうぞお楽しみに。

☆☆☆ 機関誌『AJALT』42号及びバックナンバーは、当協会 HP よりご購入いただけます。(定価 800 円+消費税+送料) ☆☆☆
